

重点目標一覧表

【平成27年度重点目標】

【平成28年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
重点目標	NHK大河ドラマ「真田丸」放送に向けた体制づくりの推進		重点目標	真田の郷おもてなし態勢の充実	
1	ゆきむら夢工房拠点化整備（ハード・ソフト事業） ・施設の一體的整備（ハード）、地域おこし協力隊による施設運営・管理（ソフト） 真田氏ゆかりの史跡等に関する整備 ・史跡等へのアクセス道路整備、駐車場、トイレ、案内看板、景観整備等 ・真田氏館跡、真田氏本城跡の整備 真田の郷周遊観光バス運行 真田三代語り部の会運営支援 真田氏歴史館特別展の開催 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内説明看板等整備	出入口や駐車場舗装等の拠点化整備が完了 ・SNS、地域新聞の発行等により情報発信 史跡等へのアクセス道路、駐車場、トイレ及び案内看板、間伐による景観整備を実施 支障木伐採等整備済（H27.12月末完了） 10月・11月・3月の土日・祝日30日間運行 常設化に向け運営・活動を支援 入館者数10,694人（前年比9%増） 真田三代を学ぶ講座を5回にわたり開催（10～12月） 管理団体との連携により案内説明板等設置（H28.2月末完了）	重点目標	真田の郷周遊観光バスの運行 真田氏歴史館特別展等開催 （1）「真田丸」をテーマに特別展の開催 （2）真田氏ゆかりの地紹介映像制作 真田まつりの開催 ・NHK大河ドラマ及び上田市合併10周年を記念したまつりの開催 合併10周年記念事業への支援・協力 （1）御屋敷つつじまつりへの支援・協力 （2）高橋まゆみ人形展への支援・協力 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内板等整備	利用者数：延べ10,000人 （1）特別展入館者数：15,000人 （2）5月末迄に設置完了 来場者数：10,000人 （1）来場者数：5,000人 （2）入場者数：6,000人 年度内2講座以上の開催 10月までに案内板等整備
重点目標	地域内分権確立に向けての「地域経営会議」の設立		重点目標	新たな住民自治の仕組みづくり	
2	地域協議会、自治会長会における「地域内分権」についての調査研究・検討 地域住民への周知・説明、意見聴取 「地域経営会議」の設立	「住民自治組織」の先進地視察の実施 検討会議を4回開催し、地域経営会議の設立について検討 地域づくり委員会、各種団体との懇談会 住民説明会、センターだよりによる情報掲載 3月23日、真田地域の地域経営会議である「真田まちづくり準備会」が設立	重点目標	地域経営会議「真田まちづくり準備会」における調査、検討 ・地域の課題の把握と解決策の検討、先進地視察 地域住民への周知、意見把握 ・地域づくり委員会、関係団体との懇談会、センターだより等による情報提供 住民自治組織設立の方向づけ ・タウンミーティングの開催、住民自治組織の枠組み案の検討、地域まちづくり計画案の策定	準備会を毎月開催 住民自治組織先進地を視察 全36自治会、自治会連合会、各種団体への周知及び意見把握 自治センターだより等による周知 4箇所（小学校区単位）で開催、枠組み案の決定、計画案の素案決定
重点目標	菅平高原スポーツリゾート地の整備促進		重点目標	菅平高原スポーツリゾート地の整備促進	
3	サニアパーク指定管理者制度への移行検討 菅平高原スポーツ振興施設整備の推進 菅平高原植生環境保全に向けた体制検討	関係団体等から意見聴取し検討を進め、当面は現行のとおり運営していくこととした 実施計画に登載され、来年度から事業実施する 関係機関と連携し、実証実験・モニタリングを開始（3か年計画）	重点目標	菅平地区振興施設整備事業の推進 （1）地元建設委員会を設立し、調整を図る （2）施設の調査、設計及び工事着手 菅平高原植生環境保全に向けた実証実験等の実施	（1）定期的な定例会の開催 （2）今年度中の工事着手 植生回復実験及びモニタリングを実施し検証
重点目標	地域公共交通の推進		重点目標	地域防災活動の推進	
4	真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 バス利用促進イベントの開催 真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催	真田地域版バス時刻表を作成し、全戸配布 地域内事業所を訪問してバス利用促進をPR 9月と3月の2回、回数券・定期券購入者に景品をプレゼント。9月：357人、3月：484人 年間の計画したイベントは全て実施 7月3日に総会を開催、役員会2回開催	重点目標	自主防災組織の育成 （1）自主防災組織リーダー研修会・先進地視察の実施 （2）災害ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 （1）重点地区における防災訓練の実施 （2）重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 （3）有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実 （1）自治会における防災訓練及び日頃の支援活動への活用の働きかけ （2）自治会における台帳作成の支援に関する働きかけ （3）更新作業の実施により、リスト及びマップの見直し	（1）6月までに36自主防災組織を対象に実施 （2）6月までに災害ハザードマップを利用した研修会の実施 （1）9月に傍陽地区を重点地区に定めて実施 （2）11月までに各自治会で、地元の消防団と連携した防災訓練を実施 （3）各種防災訓練において、有線放送を活用 （1）（2）自治会への説明会3回、 （3）民生委員会での研修3回、福祉委員・福祉推進委員への研修1回、先進地市町村の研修
重点目標	地域防災活動の推進		重点目標	地域公共交通の推進	
5	自主防災組織の育成 （1）自主防災組織リーダー研修会の実施 （2）総合ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 （1）広域避難訓練の実施（重点地区） （2）重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 （3）有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度の利活用 （1）自治会防災訓練での活用の働きかけ （2）更新作業を通じての登録同意率の向上 （3）関係機関と連携し、地域の見守り活動の一環として推進	（1）5月19日研修会実施、34自治会が参加 （2）3月中旬に全戸配布、28年度に研修会を予定 （1）悪天候のため中止 （2）自治会単位での訓練は11か所実施 （3）パージョング放送を活用した訓練（1か所）を実施 （1）自治会説明会4回、制度活用しての防災訓練2自治会 （2）更新作業は随時実施 （3）民生委員、福祉委員、福祉推進委員に対し3回実施	重点目標	利用促進に向けた広報活動 ・地域住民への広報活動、地域内事業所訪問によるPR活動 バス利用促進イベントの開催 ・真田地域公共交通利用促進協議会主催により、関係機関の協力を得て各種イベントの実地 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ・役員会及び総会の開催、利用促進に向けた調査、研究	地域づくり委員会、自治会連絡協議会等への広報活動及び事業所訪問の実施 関係機関との協力を推進し、時宜を得て、各種利用促進イベントを開催し利用促進を図る 総会7月、役員会随時開催

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
・地域経営会議の設立にとどまらず、住民自治組織設置に向けて取り組むこと。・菅平高原スポーツ振興施設については、遅延のないよう取り組むこと。・総合ハザードマップは利活用を図ること。	・菅平の振興施設については、財源を含め、地域との合意形成しながら確実に事業を進めること。・地域公共交通は、促進協議会や住民主体の活動へサポートしながら取り組むこと。